

自治体DX推進リーダー育成業務に係る公募型プロポーザルに関する質問に対する回答

令和6年5月16日

質問番号	質問項目	内容	回答
1	仕様書 2. 業務概要 (3) 業務内容 (研修等の内容) エ 研修等会場について	「エ 研修等の会場について」にて研修等の会場について提示されていますが、研修の実施方法はオンライン実施と現地对応のどちらが望ましいでしょうか。 また、現地对応とすることで、「自治体DX推進リーダー育成業務に係る公募型プロポーザル実施要領 7 審査の手続き エ評価基準 事業者の能力のア、イ、ウ」で評価されることになりますか。	研修の実施方法については、研修の実施効果が高まる方法が望ましいと考えます。仮にオンラインで実施する場合でも、受講者は市役所内会場に集合して受講する想定ですので、会場での研修受講に必要な投影機器設営等の作業は発生します。 提案される研修の実施方法や内容については、 実施要領 7 審査の手続き (2) プレゼンテーションによる審査 カ 評価基準 における「実施方針・提案内容の評価」において審査する内容になります。
2	実施要領 7 審査の手続き (2) プレゼンテーションによる審査 ウ審査の方法について	プレゼンテーション時の説明用スライドは、企画提案書を補足する資料として追加可能ですか。	プレゼンテーションで使用する説明用スライドは、企画提案書の内容を基本としてください。その際、企画提案書の内容を補足する資料の追加は可とします。企画提案書に記載のない、新たな提案内容を追加することは不可とします。
3	仕様書 2. 業務概要 (3) 業務内容 (研修等の内容) イ 研修等の内容 ③ 本市が導入している DX ツール※の適用業務や活用方法を理解し、行政手続きのオンライン化をはじめとした DX の推進につながる実践的な内容とすること。	DXツールの研修内容については、単なる利用研修にとどまらず、実業務の分析から、シナリオ作成などのソフトウェアの設定、実業務への実装といった、より現在の業務に即した研修内容を想定されていますか。	質問の内容については、 仕様書 2. 業務概要 (3) 業務内容 (業務概要) カ 研修等受講者へのフォローアップ、実業務への適用のための伴走支援 において想定しています。